

“みんなとつないで 150 年 思いを伝えさらなる未来へ”

開校 150 周年記念式典終わる 令和 4 年 2 月 15 日（火）



令和元年度に、開校150周年に向け、計画委員会が中心となって「幸手小学校のマスコットキャラクターを作ろう!!」を企画し、各クラスからキャラクター原画を募集しました。そして、総選挙の結果、決定したマスコットキャラクターが、この『幸せの青い鳥 ラピス』です。「幸手小の『幸』の文字から、幸せの青い鳥をイメージし、幸手小のみんなが仲良く、楽しく、幸せに過ごせるようにとの願いが込められています。」

原画作成：濱田 倅希さん（令和元年度2年生）

デザイン作成：石橋 結里 教諭

2月1日の開校記念日に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、実施日を2週間延期し、2月15日（火）に挙行いたしました。

明治5年2月1日に幸手市内で最初に開設されました本校の開校150周年記念式典には、市長、教育長、市議会議長並びに校区内議員、歴代校長、学校運営協議会委員の皆様にご臨席いただきました。



校長式辞



PTA 会長挨拶



市長祝辞



教育長祝辞



市議会議長祝辞

式典の様子



式辞を聴く5,6年生



御来賓の紹介



PTA 会長から記念品授与



児童代表の言葉



校舎わきに咲く紅梅に、春の足音を聞くこの良き日に、幸手市長 木村純夫様、幸手市教育委員会教育長 山西実様、幸手市議会議員 宮杉勝男様、幸手市議会副議長 小林啓子様、幸手市議会議員 木村治夫様、第35代校長 高野治様、本校学校運営協議会の委員の皆様の御臨席をたまり、ここに幸手市立幸手小学校開校150周年記念式典を挙行できますことは、校長として、大変感慨深く、また、大きな喜びでございます。高い席からでございますが、学校を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

150年の歴史を振り返ってみますと、本校は市内で最初の小学校として明治5年2月に、幸手宿の本陣、知久家の知久文蔵宅書院で開校しました。同年8月には、現在の学校教育制度の始まりである「学制」が公布され、第一大学区埼玉県管内第十二中学区葛飾郡幸手宿第二十九番小学幸手学校と称されました。明治8年にこの仮本校が担景寺本堂に移り、明治11年10月、朝萬旅館北隣に敷地の寄付を受け、洋風建築の校舎が新築されました。当時は、小学校を創設する費用は地域が負担することとなり、本校の建設費は、幸手宿の商人が中心となった寄付で賄われました。この新築された校舎の玄関には、明治天皇に学問を教える立場にあった秋月種樹が揮毫した、今も引き継がれ、校是となっております「徳智修開」の額が掲げられました。翌明治12年7月には、埼玉県の偉人である渋沢栄一の生涯を描いた、昨年度のNHK大河ドラマ、「晴天を衝け」の第35話の中で登場した、近代日本初の国賓として来日した、アメリカ合衆国第18代大統領であったユリシーズ・グラントが、日光を訪れる際、本校で小休止され、帰り道には、本校に宿泊されたという話もあります。その際、グラント元大統領は、「幸手宿にはこんな立派な小学校がある。」とほめたたえたと、言い伝えられています。大正8年に、現在の地に校舎が移されましたが、大正12年9月1日には、関東大地震が発生し、校舎が倒壊したり、昭和22年9月には、関東地方や東北地方に甚大な浸水被害をもたらしたカスリーン台風により、床上約50センチの浸水に見まわれたりしました。関東大震災では、幸手町が甚大な被害を受けたにもかかわらず、発生2年後の大正14年には、校舎の復旧工事が終了し、落成式が挙行されました。

教育環境におきましても、昭和8年には、開校60周年を記念して図書館が落成され、本校のみならず近隣の子どもの情操教育の拠点となりました。昭和25年には、給食調理場が新築され、副食給食が始まり、食育・栄養教育にも力が注がれました。昭和26年には、埼玉県内で3番目、埼玉葛地区では最初の特別支援学級が開設され、特別支援教育が先進的に進められました。昭和40年には、プール竣工、43年には現在の鉄筋コンクリート校舎落成、44年には、校内放送テレビ局開局、その後は、コンピューター教育の推進等、常に市内の中心校として、先進的な教育が本校で進められてきました。

本校は、開校以来、啓蒙学校、農学校、実習女学校等を併設しながら歴史を刻んで参りました。この間、多くの卒業生が巣立ち、現在の小学校と同様の初等の義務教育年限が6カ年に定められた明治41年から数え、16,092名の卒業生を送り出し、校是に込められた思いのごとく、身につけた徳の心や知識を社会のために役立て、多くの卒業生が、日本を支える立場で活躍

本校の歴史写真



洋風建築の新校舎
(明治11年)



現在の北門側から見た校舎
(大正10年頃)



木造校舎が写る航空写真
(昭和43年)



木造校舎と新校舎
(昭和43年)

されています。そして、何よりも、先ほど申しあげましたように、開校以来、幸手市、幸手市議会、保護者、地域の皆様の多大なる御支援、御協力、歴代の校長先生方、教職員の熱意と努力により、本校の発展と教育内容の充実が進められました。行政・地域・家庭・学校が一丸となり、子ども達の教育に情熱をもって真摯に取り組んでいただきましたことに、心より感謝申しあげます。

本日は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、5、6年生が参加し、1～4年生は、教室でリモート参加という形にはなりました。しかし、教室において、5、6年生と同じ思いで参加しています。150年前から、本校で学ぶ皆さんのために、様々な場面で支援して下さる幸手市役所や幸手市教育委員会、幸手市議会、地域の方々、保護者・PTAの皆さん、そして、「子どものために」を第一に考え、労苦を惜しまず、日々指導・支援して下さっている先生方の心にあるのは、「徳智修開」で示す、教育の理想を求める熱い思いです。

今日、教育を取り巻く社会の状況は大きく変化しており、これからの社会を担う人材を育成する教育の果たす役割は、ますます大きくなっていきます。学校の存在意義は、地域の子供達を教え導くことにあり、小学校の真価は、そこから巣立つ人材に、将来、自立し、社会に貢献できるための基礎を身につけさせることであると言えます。そして、学校が地域に誇れる学校として存在すれば、地域の文化もそれだけ高くなります。私たち教職員は、そんな学校であるよう常に努力してまいります。

在校生のみなさん、今、皆さんは、開校150周年という記念すべき時に立ち会えたことをともに喜び、長い歴史と伝統に思いを巡らせ、本校で学校生活を送れることへの感謝と、本校の充実と発展に力を尽くしてこられた多くの方々への感謝の気持ちを忘れてはなりません。御来賓や保護者をはじめ、多くの方々には、本校で学ぶ皆さんに大きな期待を寄せています。残念ながら現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大のために、できないことも多くなっています。しかし、このような中でも、皆さんを愛するたくさんの方々の御期待に応えるために、新たな気持ちで、これまで以上に学習や運動に一生懸命取り組んでほしいと思います。そして、今日からまた、幸手小学校の新たな良き伝統を築きあげていきましょう。

「みんなとつないで150年 思いを伝えさらなる未来へ」 期待しています。

結びに、本校の発展にお力添えいただきました、幸手市、並びに幸手市教育委員会、幸手市議会をはじめ、歴代の校長先生方、教職員・卒業生・保護者の皆様、そして多くの御支援、御協力を賜りました地域の皆様に、改めて衷心より御礼申し上げます。教職員、児童一同、決意を新たにして、更に大きく飛躍すべく、幸手小学校発展に邁進することをここにお誓いし、式辞といたします。

令和4年2月15日

幸手市立幸手小学校 第37代校長 森 祥一

第2部 児童による発表（6年生によるプレゼンテーション）



児童が進行する発表会



発表会開会の言葉



徳智修開室の資料から知る
幸手小（当時の教科・教科書、
校旗・校歌の始まり）



幸手小の自然（敷地内にある
表忠碑、学校で咲く花と
花言葉、校内の樹木）



幸手小の当時の学校生活
（変遷、当時のクラブ）



幸手小の歴史と外観（変
遷、児童数の推移、校舎・体
育館の外観の変化）



幸手小と地域のつながり（幸手小
の始まり、二宮金次郎像、校旗の
始まり、ブラスバンドクラブの歴史、
歴代校長クイズ）



給食の歴史
（給食の始まり、メニュー）



全校児童で作詞した「笑顔
のきみへ」を口ずさみ、絆を
さらに深めました。



150年の感謝とこれからの
発展を誓う終わりの言葉

開校 150 周年の記念品



児童・職員で読み札・絵札を考えたオリジナルかるた



表面には歴史ある校歌、裏面には、キャラクターと校是が書かれたクリアファイル



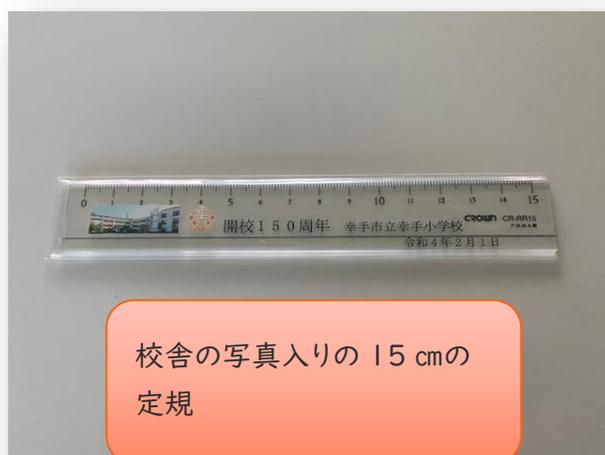
マスコットキャラクター「ラピス」の缶バッジ



マスコットキャラクター「ラピス」のクッキー



歴史をまとめた記念誌



校舎の写真入りの 15 cm の定規